



# Sitecore CMS 6.5 Engagement Analytics 設定リファレンス

開発者および管理者向けの基本概念

## 目次

第 1 章	イントロダクション.....	4
第 2 章	Sitecore Engagement Analytics の概要.....	5
2.1	Engagement Analytics の機能と概念.....	6
2.1.1	ページ要求の追跡.....	6
2.1.2	Engagement Analytics へのアクセス.....	6
	訪問者の識別.....	6
2.1.3	訪問者タグ.....	7
2.1.4	Engagement Analytics プロファイル.....	7
2.1.5	Engagement Analytics ページ イベント.....	8
	ゴールと未達成.....	8
	キャンペーン.....	8
	Engagement Analytics ページ イベントの登録方法.....	8
	URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントをトリガーする方法.....	9
	クエリ文字列パラメーターをイベントにマッピングする方法.....	9
2.1.6	キャンペーン カテゴリ.....	9
2.1.7	リバース DNS ルックアップ.....	9
2.1.8	GeolIP ルックアップ.....	10
2.1.9	自動ロボット検出.....	10
2.1.10	Engagement Analytics の Email 配信.....	10
2.2	多変量テスト.....	12
2.2.1	多変量テスト定義と多変量テスト変数.....	12
2.3	Engagement Analytics のアーキテクチャ.....	13
2.3.1	Engagement Analytics データ キュー.....	13
第 3 章	Engagement Analytics の設定.....	14
3.1	アナリティクス データベース.....	15
3.2	アナリティクス クライアント ロール.....	16
3.3	アナリティクス設定の設定.....	17
3.3.1	追加の Engagement Analytics の設定.....	21
	Analytics.Patterns.MinimalProfileScoreCount 設定.....	21
3.4	アナリティクス プロバイダー.....	22
3.5	GeolIP ルックアップ プロバイダー.....	23
3.5.1	GeolIP ルックアップ プロバイダーの実装方法.....	23
3.5.2	MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーの設定.....	23
	MaxMind.Encoding 設定.....	23
	MaxMind.Format 設定.....	24
	MaxMind.SecurityToken 設定.....	24
	MaxMind.Url 設定.....	24

3.6	サイト定義 enableAnalytics 属性 .....	25
第 4 章	Sitecore.Analytics API .....	26
4.1	Sitecore.Analytics API の概要 .....	27
4.1.1	Sitecore.Analytics.Tracker .....	27
	Sitecore.Analytics.Tracker.CurrentPage .....	27
	Sitecore.Analytics.Tracker.CurrentVisit .....	27
4.1.2	Sitecore.Analytics.TrackerDataContext .....	27
	Sitecore.Analytics.TrackerDataContext.Tags .....	27
4.1.3	The VisitorIdentification Web Control .....	28
第 5 章	Engagement Analytics のトラブルシューティング .....	29
5.1	Engagement Analytics のトラブルシューティングの概要 .....	30
5.1.1	Sitecore ログ .....	30
5.1.2	Engagement Analytics コントロール パネル .....	30

## 第 1 章

# イントロダクション

この文書では、Sitecore Customer Engagement Platform (CEP: カスタマー エンゲージメントプラットフォーム) および Sitecore Engagement Analytics (エンゲージメント アナリティクス) の設定と使用方法について説明します。Sitecore 管理者と開発者は、Engagement Analytics を実装する前にこの文書をよくお読みください。

この文書では、Engagement Analytics アーキテクチャの概要、Engagement Analytics 設定の詳細、頻繁に使用する Engagement Analytics Application Programming Interface に関するアドバイス、およびトラブルシューティング手順について説明します。

このマニュアルには次の章があります。

- **第 1 章 — イントロダクション**
- **第 2 章 — Sitecore Engagement Analytics の概要**
- **第 3 章 — Engagement Analytics の設定**
- **第 4 章 — Sitecore.Analytics API**
- **第 5 章 — Engagement Analytics のトラブルシューティング**

## 第 2 章

# Sitecore Engagement Analytics の概要

この章では、Sitecore Engagement Analytics の概要と機能を紹介し、続いてEngagement Analytics エンジンのアーキテクチャについて説明します。

この章には次のセクションがあります。

- Engagement Analytics の機能と概念
- 多変量テスト
- Engagement Analytics のアーキテクチャ

## 2.1 Engagement Analytics の機能と概念

このセクションでは、Engagement Analytics の概念と、それに対応する機能の実装手順について説明します。

### 重要

この文書における設定 ファイルに関する記載の大部分は、システム上にある `/App_config/include/Sitecore.Analytics.config` のエントリを指します。

### 2.1.1 ページ要求の追跡

Engagement Analytics エンジンでは、すべてのページ要求を自動追跡しますが、特定の要求の追跡を取り消すことができます。Engagement Analytics のほとんどの処理には、Web クライアントがアクセスするときの一連の要求が伴います。Sitecore では、各ページ要求がデータベースの 1 つのアイテムに相当します。したがって、Engagement Analytics の各処理が Sitecore アイテムに関連付けられます。これをページとも言います。

### 2.1.2 Engagement Analytics へのアクセス

Engagement Analytics へのアクセスとは、ページに関連付けられたイベントを含めて、1 回のブラウザー セッションで 1 つの Web クライアントから送信される一連の HTTP 要求のことです。

単一ユーザーからの一連の HTTP 要求を識別するために、Sitecore は Engagement Analytics セッションの Cookie を Web クライアントに送信します。セッションの Cookie の名前は `SC_ANALYTICS_SESSION_COOKIE` です。最初のカンマ文字 ("," ) より前のセッションの Cookie の値が、セッション テーブルの `SessionID` コラムの値に一致し、アナリティクス データベースの Engagement Analytics の訪問者記録の特定に使用されます。セッションの Cookie は、ユーザーが Web クライアントを閉じると期限が切れます。

Engagement Analytics アクセスは、ブラウザー セッションを表します。アクセスは、常にではありませんが、多くの場合 ASP.NET セッションに対応し、複数の ASP.NET セッションにわたる場合もあります。たとえば、ASP.NET では `web.config` ファイルの `/configuration/system.web/sessionState` エLEMENTの `timeout` 属性によって指定された分数が過ぎると ASP.NET セッションが終了します。Web クライアントからの最初の要求で、ASP.NET セッションに対応する Engagement Analytics アクセスが作成されます。ASP.NET セッションが次の要求より前に期限切れになった場合、ASP.NET では新しいセッションが作成されますが、Sitecore では新しいアクセスは作成されません。1 つのアクセスが、ASP.NET のセッション中およびセッション間のユーザーのアクティビティを表します。

### 訪問者の識別

Engagement Analytics の訪問者とは、1 つの Web クライアントからの複数の個々のアクセスを表します。

単一ユーザーからの反復アクセスを識別するために、Sitecore は永続セッションの Cookie を Web クライアントに送信します。永続セッションの Cookie の名前は `SC_ANALYTICS_GLOBAL_COOKIE` です。永続セッションの値は、グローバルセッション テーブルの `CookieValue` のコラム値に一致し、アナリティクス データベースの訪問者記録の特定に使用されます。永続セッションの Cookie は、Web クライアントによってソリューションから最後のページが要求されてから 1 年後に期限が切れます。

### 2.1.3 訪問者タグ

訪問者タグを使用すると、アクセスに関するEngagement Analytics 属性をストアできます。それぞれの属性は個別のサイト訪問者を表します。訪問者の詳細については、「訪問者の識別」のセクションを参照してください。

#### 重要

訪問者タグは、セキュリティ プロファイルおよびEngagement Analytics プロファイルとは異なります。訪問者タグは、ユーザーまたは個々の ASP.NET セッションではなく、個々の Web クライアントの訪問者に適用されます。Engagement Analytics プロファイルの詳細については、「Engagement Analytics プロファイル」のセクションを参照してください。ユーザー プロファイルの詳細については、『[セキュリティリファレンス](#)』を参照してください。

#### メモ

訪問者タグの値は、個々の Web クライアントの訪問者に適用されます。同じユーザーが 2 種類のユーザー エージェントを使用して Web サイトにアクセスした場合、Engagement Analytics エンジン は別々のタグ値で 2 つのアクセスを記録します。

### 2.1.4 Engagement Analytics プロファイル

Engagement Analytics プロファイルには、各アクセスから収集された情報が含まれます。プロフィール値をコンテンツ アイテムに割り当てると、ユーザーがそのコンテンツにアクセスしたとき、そのユーザーのプロフィールを自動的に更新することができます。アクセスの詳細については、「Engagement Analytics へのアクセス」のセクションを参照してください。

#### 重要

Engagement Analytics プロファイルは、セキュリティ プロファイルおよび訪問者タグとは異なります。Engagement Analytics プロファイルは、ユーザーや訪問者ではなく、個々の Web クライアントの個々のアクセスに適用されます。訪問者タグの詳細については、「訪問者タグ」のセクションを参照してください。

#### メモ

Engagement Analytics プロファイルの値は、個々の Web クライアントの個々のアクセスに適用されます。同じユーザーが 2 種類のユーザー エージェントを使用して Web サイトにアクセスした場合、Engagement Analytics エンジン は別々のプロフィール値で 2 つのアクセスを記録します。

## 2.1.5 Engagement Analytics ページ イベント

Engagement Analytics エンジンには、ゼロ以上のイベントを各ページ要求に関連付けます。デフォルトでは、各ページ要求はイベントを発生させます。ASP.NET のポストバック テクノロジーの代わりに AJAX を使用するアンケートで、ユーザーがフォームをクリアしたり投票を送信したりするなど、ユーザーのアクションによってイベントが発生するように設定することができます。タイマーが設定時間に達したり、ビデオが末尾まで再生されたりするなど、システム操作でイベントを生成することも可能です。

### ゴールと未達成

ユーザーがリソースにアクセスする、あるいはフォームをすべて記入する、というように Web サイト所有者の特定のゴールを表すイベントを指定できます。逆に、ユーザーが検索結果リストのリンクをどれもクリックしない、などの未達成を表すイベントも指定できます。特定の種類のゴールや未達成を登録するには、「Engagement Analytics ページ イベントの登録方法」のセクションで説明されているように、System/Analytics/Goal データ テンプレートを使用します。

### キャンペーン

イベントは、特定のキャンペーンに関連付けることができます。キャンペーン イベントを登録するには、キャンペーン定義アイテムの下で、System/Analytics/Campaign データ テンプレートを使用してキャンペーン イベント定義アイテムを挿入します。キャンペーン イベントを起動するには、sc\_camp クエリ文字列パラメーターの値を使用します。あるいは、待ち受けページのようなコンテンツ アイテムにキャンペーンを割り当てることができます。キャンペーンの詳細については、「キャンペーン」のセクションを参照してください。sc\_camp クエリ文字列パラメーターの名前を変更する場合は、「Analytics.CampaignQueryStringKey 設定」のセクションを参照してください。

## Engagement Analytics ページ イベントの登録方法

/Sitecore/System/Settings/Analytics/Page Events アイテムには、事前定義されたページ イベントが多数あります。セッション開始、セッション終了、検索、ログアウトなどの、よく生じるセッションが含まれます。

追加ページ イベントを登録する方法:

1. **コンテンツ エディター**で /Sitecore/System/Settings/Analytics/Page Events アイテムを選択します。
2. **コンテンツ エディター**で、System/Analytics/Page Eventデータ テンプレートを使用してイベント定義アイテムを挿入します。

### メモ

コードと設定ファイルは、イベント定義アイテムを名前参照します。

### ヒント

コンポーネント内のイベントを特定するには、Video Starts や Video Concludes のようにパターンを使用します。

3. **コンテンツ エディター**で、イベント定義アイテムの **[データ]** セクションにイベント パラメーターを入力します。

URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントを起動する場合は、「URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントをトリガーする方法」のセクションを参照してください。

#### 重要

イベントは、どのように使用する場合でもその前に登録する必要があります。

## URL クエリ文字列パラメーターを使用してイベントをトリガーする方法

イベント、ゴール、または未達成の名前に `sc_trk` URL クエリ文字列パラメーターを設定できます。このパラメーターの名前の設定については、「Analytics.EventQueryStringKey 設定」のセクションを参照してください。

## クエリ文字列パラメーターをイベントにマッピングする方法

任意のクエリ文字列パラメーターがイベントをトリガーするように設定する方法:

1. `web.config` で、`type` 属性の値が `Sitecore.Analytics.Pipelines.StartTracking.ProcessQueryString, Sitecore.Analytics` である `/configuration/sitecore/pipelines/startTracking/processor` エlement内に `<trigger>` Elementを追加します。
2. `<trigger>` Elementで、クエリ文字列パラメーターの名前に `querystring` 属性を設定します。
3. `<trigger>` Elementで、トリガーするイベントの名前に `eventname` 属性を設定します。

指定されたクエリ文字列パラメーターが URL に含まれている場合、指定されたイベントをEngagement Analytics エンジンが記録します。

#### メモ

Engagement Analytics のデフォルト設定では、`sc_rss` という名前の URL クエリ文字列パラメーターが、RSS という名前のイベントにマッピングされます。

### 2.1.6 キャンペーン カテゴリ

キャンペーン カテゴリとは、1 つまたは複数のメディア チャンネルを通じて製品やサービス、その他の提供物に対する関心を促進しようとするマーケティング手法です。各アクセスは、1 つまたは複数のキャンペーン カテゴリに関連付けることができます。Engagement Analytics ユーザーは、キャンペーンでアクセス データをフィルターできます。キャンペーンおよびキャンペーン カテゴリ処理の詳細については、『マーケティング オペレーション クックブック』を参照してください。

### 2.1.7 リバーズ DNS ルックアップ

リバーズ DNS ルックアップを使用すると、サーバーのアドレスを指定することで人間の読みやすい名前を得ることができ、IP アドレスの所有者に関する情報を得るのに使用できます。

### 2.1.8 GeoIP ルックアップ

GeoIP ルックアップを使用すると、IP アドレスの場所および所有者に関してリバース DNS ルックアップより詳細な情報を得ることができます。レポートに GeoIP 情報を含めるために、Engagement Analytics エンジンではルックアップを実行する外部サービスを使用します。

#### メモ

GeoIP ルックアップ サービスを利用する場合は、MaxMind などのサードパーティーにお問い合わせください。MaxMind の詳細については、「MaxMind GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定」のセクションを参照してください。この製品には、MaxMind で作成された GeoLite データが含まれています (<http://www.maxmind.com/>)。MaxMind の詳細については、<http://sdn.sitecore.net/Products/OMS/MaxMind.aspx> を参照してください。

### 2.1.9 自動ロボット検出

Engagement Analytics エンジンでは、検索エンジンのようなロボットを自動的に検出し、そのアクセスを実際ユーザーのアクセスとは別に分類することができます。Engagement Analytics は、デフォルトでロボット セッションをドロップします。この機能は、ロボットと誤って識別される訪問者がいる場合、無効になる可能性があります。

Sitecore は、多くの基準を使用してロボットの識別を試みます。ロボットは、短時間のうちに多数の要求を発行する傾向がある一方、Cookie をサポートしない、およびコンテンツで参照されている CSS ファイルやメディアを要求しない傾向があります。必要な場合には、ユーザーがロボット アクセスをライブ アクセスとして再分類することも可能です。

### 2.1.10 Engagement Analytics の Email 配信

Email による Engagement Analytics レポートの配信を設定するには、コンテンツ エディターで `/Sitecore/System/Settings/Analytics/Reports/Reports` アイテムの [データ] セクションの [スケジュール] フィールドを編集します。このフィールドに値が含まれる場合は、root エlement `<schedule>` のある XML 文書である必要があります。`<schedule>` Elementの子はそれぞれ、`<report>` Elementにする必要があります。各 `<report>` Elementに、1 つの Email レポートのプロパティを指定します。

たとえば、次の XML には次のような Schedule フィールドがあります:

```
<schedule>
  <report
    reportitem="/sitecore/system/Settings/Analytics/Reports/Reports/Marketing/Metrics"
    recipients="alias@domain.tld"
    recurrence="everyday"
    title="Metrics"
    days="1"
    format="html" />
  <!-- additional <report> elements -->
</schedule>
```

次の表で説明されている <report> エLEMENTの属性は、必須です:

属性	説明
reportitem	レポート定義アイテムのフルパス。
recipients	カンマで区切った Email アドレス。
Recurrence	配信の頻度 (everyday、weekdays、Mondays、Tuesdays、Wednesdays、Thursdays、Fridays、Saturdays、Sundays、monthly、biweekly)。複数の値はカンマ(“,”)で区切る。この値では大文字と小文字は区別されない。
Title	Email メッセージのタイトル。
Days	レポートに含めるアナリティクス データの日数。
Format	レポートフォーマット (html、pdf、png、rtf、word2007、excel2007)。

web.config で type Sitecore.Analytics.Tasks.EmailReportsTask を持つ /configuration/sitecore/scheduling/agent エLEMENTが、アナリティクス レポートを Email で配信します。このエージェントは 1 時間ごとに実行されますが、1 日に 1 度、深夜 0 時直後にレポート処理を実行するために /Sitecore/System/Settings/Analytics/Reports/Reports アイテムの Last Run フィールドの値をチェックします。レポート処理の完了後に、LastRun フィールドは更新されます。

#### メモ

Sitecore は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENTの value 属性で name MailServer によって指定される SMTP サーバーを使用します。

#### メモ

Engagement Analytics レポートは、Sitecore ユーザー インターフェイスと API を使用して Email 配信することもできます。

## 2.2 多変量テスト

Engagement Analytics エンジンを使用すると、多変量テストを適用できます。多変量テストを使用すると、各プレゼンテーションコントロールのデータソースを動的に設定できます。

### 2.2.1 多変量テスト定義と多変量テスト変数

多変量テストはそれぞれ、1 つまたは複数の多変量テスト変数を含む多変量テスト定義アイテムで構成されます (テストセット)。それぞれの多変量テスト変数には、システムがその変数を適用するとき、プレゼンテーション コントロールのデータ ソースとして適用するアイテムを指定します。多変量テスト定義アイテムには、システムがどの多変量テスト変数を選択してレンダリングのデータ ソースとして適用するかを決める手段を指定します。レイアウト詳細を使用すると、ユーザーが多変量テストを選択して各プレゼンテーション コントロールを適用できます。多変量テストの構成およびテスト変数の詳細については、『マーケティング オペレーション クックブック』を参照してください。

## 2.3 Engagement Analytics のアーキテクチャ

Engagement Analytics エンジン、各ページ要求にアナリティクス処理ロジックを追加します。

### 2.3.1 Engagement Analytics データ キュー

ページ要求があるたびに、多数のページ イベントとユーザー プロファイル情報が生成されることがあります。ページをレンダリングする際のパフォーマンスへの影響を減らすために、Sitecore Engagement Analytics エンジンはこのデータをメモリー内の訪問者データセットに書き込みます。訪問者データが指定されたサイズに達するか、指定された制限時間に達すると、データはメモリー内の共有データセットに移動されます。共有データセットが指定されたサイズに達するか、指定された制限時間に達すると、大容量データベースの操作によってデータは固定のデータベース記憶域に送られます。

サイズと制限時間を設定する方法は、この文書の「Analytics.MaxQueueSize 設定」のセクションを参照してください。

#### **重要**

キュー サイズは、ピーク時のソリューション インフラストラクチャの超過を避けるように、あるいは未確認で負荷のかかる検索エンジンによる被害を抑えるように設定してください。

## 第 3 章

# Engagement Analytics の設定

この章では、データベース、設定、プロバイダーなど、Engagement Analytics エンジンの設定方法を説明します。

この章には次のセクションがあります。

- アナリティクス データベース
- アナリティクス クライアント ロール
- アナリティクス設定の設定
- アナリティクス プロバイダー
- GeolP ルックアップ プロバイダー
- サイト定義 enableAnalytics 属性

### 3.1 アナリティクス データベース

Web サイト上でアナリティクス データを収集するために使用されるデータベースは、`/App_Config/ConnectionStrings.config` の `/connectionStrings/add` エLEMENT の `connectionString` 属性で、`name=analytics` によって指定されます。複数の Sitecore インスタンスが同じアナリティクス データベースにアクセスできます。たとえば、ロード バランサーの背後にある複数のコンテンツ デリバリ インスタンスが、別々のコンテンツ管理サーバーによってアクセスされるアナリティクス データベースにデータを投入して、レポートを生成する場合があります。

アプリケーションをレポートするために使用されるデータベースは、`/App_Config/ConnectionStrings.config` の `/connectionStrings/add` エLEMENT の `connectionString` 属性で、`name=reporting` によって指定されます。Stimulsoft レポート、エグゼクティブ ダッシュボード、EAS スーパーバイザー、および EAS モニターで、この属性の文字列が定義されている場合、データベースをレポートするために使用されます。

#### 注意

Sitecore は、アナリティクスの機能として Microsoft SQL Server をサポートしています。

## 3.2 アナリティクス クライアント ロール

Sitecore\Analytics セキュリティ ロールは、Sitecore ユーザー インターフェースにおけるEngagement Analytics 機能へのアクセスを制御します。これらのロールには、クライアント プロファイリング、メンテナンス、パーソナリゼーション、レポートが含まれます。

Sitecore クライアント セキュリティ ロールの詳細については、『クライアント設定クックブック』を参照してください。

### 3.3 アナリティクス設定の設定

各設定で利用できる値は、設定ファイルの各 `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの上にあるコメントで説明されています。

#### 重要

`web.config` に関する重要な注意については、「Engagement Analytics の機能と概念Engagement Analytics の機能と概念」のセクションを参照してください。

#### **Analytics.AutoDetectBots** 設定

アナリティクス エンジンが検索エンジンなどの Web ロボットを自動的に分類しようとするかどうかは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.AutoDetectBots` によって指定されます。自動ロボット検出の詳細については、「自動ロボット検出」のセクションを参照してください。

#### **Analytics.BulkCopyBatchSize** 設定

アナリティクス データをメモリーから固定のデータベース記憶域に転送するとき、大容量のコピー操作をバッチ化するための行の数は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.BulkCopyBatchSize` によって指定されます。

#### **Analytics.CampaignQueryStringKey** 設定

Engagement Analytics エンジンがキャンペーンをトリガーするときに使用される URL クエリ文字列パラメーターの名前は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.CampaignQueryStringKey` によって指定されます。キャンペーンの詳細については、「キャンペーン」のセクションを参照してください。

#### **Analytics.DisableDatabase** 設定

アナリティクス データベースへの読み書きは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.DisableDatabase` によって無効になります。

#### **Analytics.EmailFromAddress** 設定

Engagement Analytics エンジンで生成されたメッセージの送信者として使用される Email アドレスは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.EmailFromAddress` によって指定されます。Email 配信の詳細については、「Engagement Analytics の Email 配信」を参照してください。

#### **Analytics.Enabled** 設定

Sitecore で着信 HTTP 要求に関する情報をストアするかどうかは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.Enabled` によって指定されます。アナリティクスを使用しない環境でパフォーマンスの向上を図る場合には、`Analytics.Enabled` を `false` に設定してください。

### **Analytics.EventQueryStringKey 設定**

Engagement Analytics エンジンがイベントをトリガーするときに使用される URL クエリ文字列パラメーターの名前は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.EventQueryStringKey` によって指定されます。イベントの詳細については、「Engagement Analytics ページ イベント」「Engagement Analytics データキュー」のセクションを参照してください。

### **Analytics.GeoIps.CacheSize 設定**

GeoIP ルックアップ マネージャー内のキャッシュされたアイテム数は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.GeoIps.CacheSize` によって指定されます。

### **Analytics.LogLevel 設定**

アクティビティをログに記録するかどうかのしきい値は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.LogLevel` によって指定されます。デフォルトでは、Engagement Analytics エンジンエラーと例外のみをログに記録します。

### **Analytics.LongRunningRequest 設定**

Engagement Analytics 処理を許可する時間 (ミリ秒) は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.LongRunningRequest` によって指定されます。処理がこのしきい値を超えた場合、Sitecore ログと Engagement Analytics レポートにはエラーとして表示されます。

### **Analytics.MaxCachedRows 設定**

各定義テーブルのデータのうち、メモリーに保存される行の数は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.MaxCachedRows` によって指定されます。この値を超えると、行の半数はメモリーから破棄されます。

### **Analytics.MaxQueueSize 設定**

データ キューの最大サイズは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.MaxQueueSize` によって指定されます。データ キューについての情報は「Engagement Analytics データ キュー」のセクションを参照してください。現在のデフォルト値は 10,000 です。

#### **注意**

Engagement Analytics データ キューのサイズが、ASP.NET に使用可能なメモリーを超えることはできません。データ キューの上限に達した場合でも、キュー サイズが不適切とは限りません。キュー サイズの制限に達した場合には、ハードウェアにおけるピークロードの処理が不適切、侵入性の高いロボットなどの原因も考えられます。

### **Analytics.PerformLookup 設定**

インスタンスでリバース DNS ルックアップと GeolIP ルックアップを実行するかどうかは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.PerformLookup` によって指定されます。ルックアップを実行する必要があるのは、アナリティクス データベースに接続している Sitecore インスタンスのうち 1 つのみです。

#### **重要**

MaxMind プロバイダーを含めて GeolIP ルックアップ プロバイダーのほとんどは、GeolIP ルックアップの実行にインターネット アクセスを必要とします。インターネットにアクセスできない環境では、`Analytics.PerformLookup` を `false` に設定してください。

### **Analytics.PerformLookup.Interval 設定**

ルックアップ処理の間隔は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.PerformLookup.Interval` によって制御されます。

### **Analytics.ReverseDnsLookupTimeout 設定**

リバース DNS ルックアップ処理を許可する時間 (ミリ秒) は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.ReverseDnsLookupTimeout` によって指定されます。

### **Analytics.Robots.IgnoreRobots 設定**

ロボットとして検出された要求からのアクセスがデータベースに書き込まれないことは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.Robots.IgnoreRobots` が `true` と設定されたときに指定されます。

### **Analytics.Robots.IgnoreAutoRobots 設定**

自動ロボットとして検出された要求からのアクセスがデータベースに書き込まれないことは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.IgnoreAutoRobots` が `true` と設定されたときに指定されます。

### **Analytics.Sampling.Percentage 設定**

アナリティクス データベース内に収集されるアクセスの割合は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.Sampling.Percentage` によって指定されます。デフォルトの 100 にすると、すべてのアクセスのすべてのデータが収集されます。

### **Analytics.TrackerChanges.FlushInterval 設定**

アナリティクス追跡データをメモリーからデータベースへ書き込む頻度は、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エレメントの `value` 属性で、`name Analytics.TrackerChanges.FlushInterval` によって指定されます。

### **Analytics.TrackerChanges.MaxRows 設定**

アナリティクス追跡データがメモリーからデータベースに書き込まれる前に、メモリーに保持されるアナリティクス追跡データの行数は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.TrackerChanges.MaxRows によって指定されます。

### **Analytics.TrackerChanges.Sleep 設定**

トラッカーによるキューの非アクティブ期間の変更は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.TrackerChanges.Sleep によって指定されます。

### **Analytics.UpdateBatchSize 設定**

バッチ操作に含める SQL 要求の数は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.UpdateBatchSize によって指定されます。

### **Analytics.UseBulkCopy 設定**

データベースに行を挿入するために大容量のコピー操作を使用するかどうかは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.UseBulkCopy によって指定されます。

### **Analytics.Automation.BatchSize 設定**

バッチで処理するレコードの数は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.Automation.BatchSize によって指定されます。

### **Analytics.Automation.Interval 設定**

ワークフローのワーカー プロセスを実行する頻度は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.Automation.Interval によって指定されます。

### **Analytics.Automation.MachineName 設定**

ワークフロー エンジンを実行するサーバーの名前は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.Automation.MachineName によって指定されます。

### **Analytics.Automation.Threads 設定**

ワークフロー エンジンで使用されるスレッドの数は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エレメントの value 属性で、name Analytics.Automation.Threads によって指定されます。

### 3.3.1 追加のEngagement Analytics の設定

このセクションで説明されている設定ファイルのエントリは、DMS のインストール中に得られる `Sitecore.Analytics.config` ファイルには含まれません。関連機能を有効にするには、自身でこれらのエントリを追加する必要があります。

#### **Analytics.Patterns.MinimalProfileScoreCount** 設定

パターン カードを使用している場合は、以下の行を `Sitecore.Analytics.config` ファイルの `configuration/sitecore/settings` セクションに追加する必要があります。

```
<setting name= "Analytics.Patterns.MinimalProfileScoreCount" value= "3" />
```

パターンマッチ動作が始まる前のアクセス中にアクセスされる必要のあるページの数、この設定の `value` 属性で、指定されます。たとえば、`value= "3"` の場合、アクセスされたページ数が 4 以上のときにパターンマッチが始まります。

プロフィール、プロフィール カード、パターン カードの詳細については、『Sitecore マーケティング オペレーション クックブック』を参照してください。

### 3.4 アナリティクス プロバイダー

デフォルトのアナリティクス プロバイダーを更新し、Engagement Analytics データをデフォルトの Sitecore アナリティクス データベース以外のシステムにストアするには、デフォルトのアナリティクス プロバイダーと同じシグネチャーを持つカスタム アナリティクス プロバイダー クラスを実装します。

次に、Sitecore.Analytics.config の `/configuration/sitecore/dataAdapterManager/providers/add` エLEMENT の `type` 属性で、実装したクラスを参照するように `name="default"` を更新するか、`<providers>` エLEMENT に `<add>` エLEMENT を追加して一意の `name` を指定し、カスタム プロバイダーを参照するように `type` 属性を更新した上で、`<dataAdapterManager>` エLEMENT の `defaultProvider` 属性を `name` に設定します。

```
<dataAdapterManager defaultProvider="default">
  <providers>
    <clear/>
    <add name="default" type="Sitecore.Analytics.Data.DataAccess.DataAdapters.
      Sql.SqlServer.SqlServerDataAdapterProvider, Sitecore.Analytics"/>
  </providers>
</dataAdapterManager>
```

#### 重要

カスタムのアナリティクス プロバイダーは、デフォルトのアナリティクス プロバイダーと同じシグネチャーを持つ必要があります。

## 3.5 GeolIP ルックアップ プロバイダー

GeolIP ルックアップ プロバイダーは、`web.config` の `/configuration/sitecore/lookupManager/providers/add` エLEMENTの `type` 属性で、`name default` によって指定されます。

MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーの詳細については、「MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーの設定」のセクションを参照してください。

### 3.5.1 GeolIP ルックアップ プロバイダーの実装方法

カスタム GeolIP ルックアップ プロバイダーを実装する方法:

1. Visual Studio の Web アプリケーション プロジェクトで `Sitecore.Analytics.Lookups.LookupProviderBase` クラスから継承するクラスを作成します。
2. この新しいクラスで、`GetInformationByIp()` メソッドを実装します。
3. `web.config` ファイルの `/configuration/sitecore/lookupManager/providers/add` エLEMENTで、新しいクラスを参照するように `type` 属性を更新します。

### 3.5.2 MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーの設定

MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーを使用するには、このセクションで説明されている設定を構成してから、`web.config` の `/configuration/sitecore/lookupManager/providers/add` エLEMENTの `type` 属性で、`name default` を次の値に設定します:

```
Sitecore.Analytics.Lookups.MaxMindProvider, Sitecore.Analytics
```

Engagement Analytics には、テストと実装の便宜上、および CEP の機能を最初から利用できるように、多数のルックアップが無償で付属していますが、無償のルックアップ バッチは有効期限があり、MaxMind から追加購入が必要です。

MaxMind への登録と、追加ルックアップの購入については、次のページを参照してください:

<http://sdn.sitecore.net/Products/OMS/MaxMind.aspx>

#### 重要

購入した MaxMind GeolIP ルックアップ サービスを使用する場合、`MaxMind.Url` 設定を MaxMind から指定される URL に変更する必要があります。`MaxMind.Url` 設定の詳細については、「MaxMind.Url 設定」のセクションを参照してください。

### MaxMind.Encoding 設定

MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーで使用されるページ エンコーディングは、`web.config` の `/configuration/sitecore/settings/setting` エLEMENTの `value` 属性で、`name MaxMind.Encoding` によって制御されます。

## MaxMind.Format 設定

MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーで使用されるフォーマットは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENTの value 属性で、name MaxMind.Format によって制御されます。

## MaxMind.SecurityToken 設定

MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーで使用されるセキュリティは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENTの value 属性で、name MaxMind.SecurityToken によって制御されます。

## MaxMind.Url 設定

MaxMind GeolIP ルックアップ プロバイダーで使用される URL は、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENTの value 属性で、name MaxMind.Url によって制御されます。

### 3.6 サイト定義 enableAnalytics 属性

Web サイトごとにEngagement Analytics データのキャプチャを有効または無効にするには、web.config の適切な /configuration/sitecore/sites/site エLEMENTの enableAnalytics 属性を true または false に設定します。

#### ヒント

コンテンツ管理をコンテンツ デリバリから分離する場合、コンテンツ管理環境でアナリティクス データがキャプチャされないように、コンテンツ管理環境のすべての論理サイトで enableAnalytics 属性を false に設定します。

## 第 4 章

# Sitecore.Analytics API

この章では、Sitecore.Analytics API (Application Programming Interface) について説明します。

この章には次のセクションがあります。

- Sitecore.Analytics API の概要

## 4.1 Sitecore.Analytics API の概要

Sitecore.Analytics API を使用するには、Visual Studio プロジェクトで、/bin フォルダの Sitecore.Analytics.dll アセンブリへの参照を Sitecore ソリューション Web サイトのドキュメント ルート内に追加します。Engagement Analytics API についての情報は、『Sitecore Engagement Analytics API クックブック』を参照してください。

### 注意

Visual Studio プロジェクトで、/bin フォルダのプロジェクトにおけるアセンブリへの参照すべての *Copy Local* プロパティを、False に設定します。参照されるアセンブリの *Copy Local* プロパティを False に設定しない場合は、Visual Studio で /bin フォルダからアセンブリが削除され、Sitecore でエラーが発生する可能性があります。

### 4.1.1 Sitecore.Analytics.Tracker

Sitecore.Analytics.Tracker 静的クラスは、Tracker.DataContext プロパティにアクセスする機能を提供します。現在の要求でアナリティクスを有効にするかどうかは、Sitecore.Analytics.Tracker.IsActive プロパティで指定します。

#### Sitecore.Analytics.Tracker.CurrentPage

Sitecore.Analytics.Tracker.CurrentPage クラスは、アクセスでのページを表します。アクセスにおける前のページ、現在のページ、次のページにイベントを関連付けることができます。

#### Sitecore.Analytics.Tracker.CurrentVisit

Sitecore.Analytics.Tracker.CurrentVisit クラスは、現在アクセス中のアクティビティを表します。

### 4.1.2 Sitecore.Analytics.TrackerDataContext

Sitecore.Analytics.TrackerDataContext から、ページイベント、ページ、キャンペーン、Geolps、タグなどの現在のアクセスについての情報を得ることができます。

#### Sitecore.Analytics.TrackerDataContext.Tags

Sitecore.Analytics.TrackerDataContext.Tags コレクションを使用すると、Engagement Analytics タグにアクセスできます。タグ コレクションは名前の値のペアで構成され、それらはプログラムから割り当てることができます。

### 4.1.3 The VisitorIdentification Web Control

VisitorIdentification Web コントロールは、Sitecore アナリティクス エンジンでロボットを識別する際に効果的です。VisitorIdentification Web コントロールでは、空の CSS リソースを参照する HTML の <link> エlementが生成されます。Engagement Analytics エンジンは、この要求を使用してロボットと実際のユーザーを識別します。自動ロボット検出の詳細については、「自動ロボット検出」のセクションを参照してください。

#### 重要

Engagement Analytics エンジンがロボットを識別しやすいように、すべてのレイアウトの HTML <head> セクションに VisitorIdentification Web コントロールを組み込んでください。次はその例です:

```
<sc:VisitorIdentification runat="server" />
```

## 第 5 章

# Engagement Analytics のトラブルシューティング

この章では、Engagement Analytics エンジンで起きる問題のトラブルシューティング手順について説明します。

この章には次のセクションがあります。

- Engagement Analytics のトラブルシューティングの概要

## 5.1 Engagement Analytics のトラブルシューティングの概要

次のセクションの情報を使用して、Engagement Analytics エンジンで起きる問題のトラブルシューティングを行います。

### 5.1.1 Sitecore ログ

トラブルシューティングは常に、Sitecore ログ ファイルを調べることから始まります。ログ ファイルは、web.config の /configuration/sitecore/settings/setting エLEMENTの value 属性で name LogFolder に よって指定されるディレクトリにあります。

### 5.1.2 Engagement Analytics コントロール パネル

Sitecore デスクトップの [コントロール パネル] の [エンゲージメント アナリティクス] セクションには、リバース DNS ルックアップと GeoIP ルックアップが成功したか失敗したかに関する情報が示されます。

Sitecore がリバース DNS ルックアップと GeoIP ルックアップを実行できるかどうかを判定する方法:

1. Sitecore デスクトップで [Sitecore] ボタンをクリックします。[Sitecore] メニューが表示されます。
2. [Sitecore] メニューで、[コントロール パネル] をクリックします。Sitecore デスクトップに [コントロール パネル] が表示されます。
3. Sitecore デスクトップの [コントロール パネル] で、[アナリティクス] ボタンをクリックします。Sitecore デスクトップに [エンゲージメント アナリティクス コントロール パネル] が表示されます。
4. [エンゲージメント アナリティクス コントロール パネル] で [参照を更新する] をクリックし、表示されるウィザードの指示に従います。
5. [エンゲージメント アナリティクス コントロール パネル] で、[アナリティクス ステータスを取得する] をクリックします。Sitecore デスクトップに [アナリティクス ステータス情報] レポートが表示されます。
6. アナリティクス ステータス情報レポートで、[リクエスト] の [前回の成功] に最新の日時が示されていない、または [リクエスト] の [最後に発生した失敗] に最新の日時が示されている場合には、システムがイベント キューを超過しています。

#### メモ

リバース DNS ルックアップまたは GeoIP ルックアップの処理がタイムアウトなどでエラーになる場合、リバース DNS ルックアップ プロバイダーから得られる情報は Engagement Analytics レポートに示されません。GeoIP ルックアップ プロバイダーの設定をチェックしてシステムがインターネットにアクセスできることを確認し、Sitecore のログで詳細を調べてください。

Sitecore デスクトップの [コントロール パネル] の [エンゲージメント アナリティクス] セクションの他のオプションによって、設定データをアナリティクス データベースから Master データベースにコピーし、訪問者の分類を更新することができます。